

2025年5月31日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市須和田2-12-3
fax 047-303-3025
携帯 090-6310-3294
メールアドレス
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール

No.169

拡げよう再審の扉

再審法改正をめざす市民の会が集会

5月26日、文京区シビックホールで、再審法改正をめざす市民の会結成6周年の集会在開かれまし。全国から、えん罪被害者、支援者などが参加しました。

最初に連帯のあいさつで、「えん罪被害者のた

めの再審法改正を早期に実現する議員連盟」の幹事長・逢坂誠二さん（立憲民主党衆議院議員）から、創立時の入会議員が134名から、今年5月現在386名で、国会議員の過半数を超えて、超党派議員で話し合い、議

員立法で成立をめざしたいと決意が語られました。地方自治体からの賛同は、24道府県議会を含む651地方議会が採択し、茨城県知事、静岡県知事はじめ213首長が、再審法改正への賛同を表明しています。千葉県議

会も市川市議会もまだ、意見書は採択されていません。一度、市議会では提出されたのですが、不採択となっています。

集会では、えん罪当事者からの訴えがありました。福井女子中学生殺人事件の前川彰司さん、袴



田事件の袴田ひで子さん（写真）からビデオメッセージが寄せられました。記念講演は元裁判官の村山浩昭弁護士が「なぜ再審制度が必要なのか。白鳥決定から50年」と題して、100年前の旧刑事訴訟法のまま、今の時代の相応しい改正が必要であると力説しました。各界からの発言や、映画監督で共同代表をしている周防正行さんも「再審法改正は議員立法で」と報告されました。



市川に9条の碑を副市長に要請



4月5日にスタート集会を成功させた「市川に憲法9条の碑をつくる会」のよびかけ人代表の4人が、「集会」への市長のメッセージのお礼と、建立場所に公用地の提供のお願いに伺いました。松丸副市長が対応しました。声優の滝沢さん（アンパンマンに出演）の名刺入れがアンパンマンだったので、やなせ先生の話で話がはずみました。それぞれの分野で思いを伝え、ガザやウクライナでの戦争の悲劇を繰り返さないように、みえる場所に「9条の碑を」と訴えました。

「虐殺の共犯者になるな」 幕張メッセで武器見本市



5月21日～23日まで、千葉市の幕張メッセで、武器見本市が開催され、抗議行動が呼びかけられ、350人が参加しました。ガザを攻撃し殺傷しているイスラエルの企業も出展。「日本は虐殺の共犯者になるな」と呼びかけ、「ダイ・イン」で意思を示してきました。



5月24日、津田沼駅頭で、県内初となる田村智子委員長が、参議院選挙勝利へ共に頑張ろう！と挨拶。

7月は参議院選挙です

参議院選挙は2回投票します。1回目の選挙区は候補者名で「白石ちよ」。2回目の比例代表は政党名で「日本共産党」（候補者名でも投票できます）。比例代表の候補者は、はたやま和也（北海道・東北・北関東）、小池晃（東京・南関東）、井上さとし（東海・北信越・京都）、山下よしき（京都を除く近畿）、白川よ

う子（中国・四国・九州沖縄）、政治を動かす比例代表ベストチーム5人全員を国会へ。

「野菜もお米も高くても買えない」という皆さん。日本共産党は「今すぐ消費税を5%に」。野党も消費税減税を言い出していますが、財源論をしっかりと示しているのは、共産党だけです。大企業減税の撤回（9・5兆円）、大株主への課税強化（2・6兆円）、富裕税の創設（2・9兆円）、軍事費の削減（8兆円）合計で23兆円。これらを使い、消費税減税、中小企業への直接支援で、時給1500円。さらに、企業・団体献金禁止、選択的夫婦別姓、学費値上げ中止など公約しています。

無料法律相談

◎7月8日（火）
担当 藤盛夏子弁護士
◎8月19日（火）
担当 小澤友美弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控室まで

《主な活動報告 5月》

☆5月1日 千葉中央メーデーに参加



労働者の祭典と呼ばれる、メーデーに参加しました。今年は市川独自の行動ではなく、千葉中央公園に集合する千葉中央メーデーに合流しました。たくさんの団体アピール、共産党もその一員として、

県委員長が挨拶。県議、地方議員も集合しました。

☆5月4日 国分川での鯉のぼりフェスタに参加

4月末から国分川に飾られた鯉のぼり。今年も盛大に開かれ、大勢の市民が参加しました。鯉のぼりを吊るす作業が大変だと思います。大学生にも手伝ってもらい、行っているということです。



☆5月8～9日 歴史探訪の旅



5年ぶりの「歴史探訪」となりました。国民救援会と治安維持法同盟で、呼びかけたもの。全県から35人が参加しました。行き先は、群馬県草津温泉の近く、ハンセン病療養所の重監房跡地と資料館。ハッ場ダムの見学です。劣悪な環境の重監房に全国から送り込まれ、閉じ込められていたことが、よく

わかりました。国に改善を要望したなどの理由で、見せしめ的に集められた人たちでした。

☆5月17日 生健会の学習会と総会

学習会は「葬儀の現状と心構え」と題して、藤井祭典の社長さんがお話ししてくれました。「エンディングノート」が大事なこと。孤独死が増えていること。様々なお墓の話など、大変役に立つものでした。